

バグウォッシュ
会議に耳傾けよ

大阪府 服部 秀子
(主婦 66歳)

バグウォッシュ・シンポジウムが京都で開催されました。朝永振一郎氏の寄稿文を本紙で読み、学者ばかりの、地味だが深く重い会議の意義を感ぜられました。

国柄、思想の上で論議するのはなく、ヒトという種の一員として、人を殺しあう戦争を、核を排除するものだ、と述べておられます。原爆詩人陸三吉の詩「人間をかえせ」それではないでしょうか。

抑止力という大義名分のもと、核保有が大っぴらになされる今日、私たちの不安はつるはらびます。弱小国は核保有大国の力の下に入れたいというを、いよいよ世界を分断して各国が敵視しあうことになると思います。あの残酷な広島・長崎と比較にならない強大なものになりつつあるのです。そして市民の描いた原爆の絵をまざまざと見せられた私たちは日本人は、黙ってはいられないでしょう。

私は以前見た「潜て」という映画を思い出しています。ボナンニの操作で、その巨大な魔力を發揮した核爆発によって人間はすべて死滅し、荒涼たる地上の姿が映し出されましたが、決してウソではないと願っています。核作りに狂奔している国々に、それに手を貸してその力をもっと悪用するに任せている論議者たち。この学者会議に深く耳を傾けてほしい。



CIAなどによる非難を恐るべきです。

c092-17-010